

様式第1号（第11条関係）

江津市議会報告会実施報告書

開催日時	H29年11月15日（水）14時20分～15時20分	
開催場所	ポリテクカレッジ島根	
出席議員	責任者 永岡 静馬 報告者 土井 正人 藤田 厚 森川 佳英 田中 利徳 記録者 河野 正行	
参加者数	全校生徒 約90人、教職員6人	
実施内容報告	選挙管理委員会事務局説明	「選挙制度について」クイズ形式で説明された。
	議会について	議会の仕組みや常任委員会の説明、決算特別委員会の説明を、9月議会の報告も含めスライドにより説明した。
		<p>今回、教育関係での議会報告会は、初めてということで、学校とも打合せを数回行い、当日を迎えました。選挙管理委員会が約25分、議会が30分という時間配分で行いましたが、質疑応答の時間がほとんどとれなかった点が、反省としてあります。今回は初めてのことで、ポリテクカレッジ島根側も、主権者教育に力を入れるという意味合いもありましたが、紀校長より、議会側の話も聞けて良かったとのご意見もいただきました。</p> <p>今後は、次回の担当部署の方針にもよりますが、学校関係の報告会も是非、続けていただけたらと思います。</p>
その他特記事項	質疑応答の時間が少なく、「一般会計と特別会計の違いは何か」のみの質問があった。	

+平成29年 12月 25日

江津市議会議長 田中 直文 様

地区報告会責任者 永岡 静馬 ㊟

江津市議会報告会実施報告書

開催日時	29年11月21日（火）13時20分～15時10分	
開催場所	県立江津高等学校	
出席議員	責任者 森脇 悦朗 報告者 多田 伸治 藤間 義明 河野 正行 記録者	
参加者数	2年生70人、教職員4人	
実施内容報告	選挙管理委員会事務局説明	「選挙制度について」クイズ形式で説明された。
	議会について	議会の仕組みや常任委員会の説明、決算特別委員会の説明を、9月議会の報告も含めスライドにより説明した。
グループワーク Aグループ 担当：森脇	<p>自分のまちのいいところ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然がたくさん、豊か、空気がきれい ・近所の人が優しい、野菜をくれる ・縁がいっぱいある ・学校が近い ・事故が少ない ・騒音がない <p>将来の展望</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商業施設がほしい、増やしてほしい（映画館、飲食店） ・子どもの遊び場がほしい（パチンコが多い） ・交通機関をもっと便利に ・汽車の便数を増やしてほしい ・空き家をもっと活用してほしい ・人が増えてほしい ・誰もが暮らしやすいまち ・自然を大切にするまち ・みんなが楽しく暮らせるようなまち ・歴史ある町並みを大切にしてほしい ・誰でも挨拶をかわすことのできるまち ・子どもから大人まで仲が良い <p>まとめ</p> <p>交通の便を良くして欲しいや、施設がほしいといった意見があり、いずれも人口が減ったから環境が悪くなったと説明しました。逆に子育て支援のしやすいまちづくりを進めたら、定住人口も増えるのではないかとの提案もしました。</p>	
Bグループ 担当：多田	<p>将来の展望</p> <p>《交通に関わるもの》</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 最低1時間に二本汽車がとおるようにしてほしい。 ➤ 交通機関の運行時間を増やしてほしい。 	

- 汽車の本数が少ない
- 交通機関がしょぼい
- 電車の本数を増やしてほしい。

《まちのにぎわいに関わるもの》

- 遊ぶ場所が少ない
 - ・ イオンモール、ボーリング場、映画館
 - ・ 都野津方面に遊ぶ場所がない
- 余っている土地にいろんな施設をつくる
 - ・ 映画館、あそぶところ
- イズミをもう1個作る
- 大型ショッピングモールがほしい。
- 娯楽施設がほしい
- コンサートができる大きな会場をつくってほしい
- Round 1 がほしい。
- Round 1 がほしい。
- バッティングセンターがほしい。
- 遊ぶ施設がほしい。
- 近くに映画館がなく、遠出しなければいけないので江津に映画館が欲しい。
- 学生があそべる施設をつくってほしい
- 市民体育館周辺の施設をもっと充実させてほしい
- 駅前に、コンビニをつくる。
- 駅前にホテルやパレットが出来ているので手ごろな価格で買い物が出来るコンビニをつくる
- 市全体での祭りがほしい

《市の抱える問題への提案・提起》

- 人口を増やす
- 道路が狭い場所が多く、危ない
- 空き家をもっと利用してカフェなどをする。
- 都野津駅を進化させる

まとめ

移動手段が鉄道・自転車しかない高校生からの意見であるため、交通に関するものが多くあり、公共交通・生活交通の充実が切実な要望となっていました。それ以上に、市内の公共施設・商業施設が高校生のニーズを満たしていない状況であることが示されました。一方、そういった状況を打開するためには、人口の増加が必要であることは理解されていました。

なお、Bグループの生徒のうち、半数は「卒業後も地元に残り

	たい」との希望を持っており、上記のような様々な不足があっても、地域への愛着が形成されていました。
C グループ 担当：藤間	<p>自分のまちのいいところ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然がたくさんある。 ・伝統的なものがたくさんある ・まる姫パークがある。 ・見守り隊がある。 <p>将来の展望</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若者が集まる街 ・空き家の活用 ・商業施設（ゆめタウン等）がたくさんある街 ・交通手段を増やす。 <p>まとめ</p> <p>自然や伝統的なものがたくさんある江津を、まる姫パークや、見守り隊や空き家を活用し、また商業施設（ゆめタウン等）や交通手段を増やし。若者が集まる街を目指します。</p>
D グループ 担当：河野	<p>将来の展望</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安心して暮らせる町～住み心地の良い町 ・誰もが住みやすい町：2名 ・若者が暮らしやすい町 ・楽しい町 ・映画館がある町：3名 ・欲しい物がある町 ・交通が便利な町～東京まで30秒で行ける ・活気のある町 ・お店がたくさんある町 ・不便でない町 <p>まとめ</p> <p>安心安全に暮らせるまちを作ってほしいという意見と、交通機関や買い物、遊ぶことが便利なまちがいいという意見が多くみられました。特に、映画館など娯楽施設が少ないという学生の意見に答えがすぐには出せませんでした。が、県外の大学に入っても、いずれはなるべく多くの学生が地元に戻って来られるよう努力することと、学生たちの声の一つでも多く反映できるまちにできるよう努力しなければいけないことを切に感じました。</p>
E グループ 担当：坪内	<u>これから江津をどんな街にしていきたいか意見をだしてもらいました</u>

- ・市民体育館みたいな運動ができる場所を増やしてほしい／体育館などの場所を増やしてほしい
- ・市内で遊べる場所を増やしてほしい／若い人が遊べる場所を増やしてほしい
- ・交通の便を良くしてほしい
- ・人口が増えて明るい街になってほしい
- ・若い人も多い街になってほしい
- ・どの世代も住みやすい街
- ・施設が整って住みやすい街
- ・人が街に来たくなるような街／江津に人が増えてほしい

自分目線ではなく、自分とは違う誰かの立場に立って同じテーマで考えてもらいました。

- ・夜でも営業しているお店を増やしてほしい（サラリーマンなどのために）
- ・地域のつながりが強い街
- ・来てほしいと思うような街
- ・観光客などが楽しめる施設を増やす（観光客のために）
- ・観光客の人が必要な交通機関を整える（観光客のために）
- ・公園を増やす（高齢者のために）
- ・人口が増えればいい
- ・交通機関を整えてほしい（市外からくる人のために）
- ・交通の便を良くする（高齢者のために）
- ・イベントを増やす（江津市外の人のために）
- ・明かりをもっと増やす（みんなのために）

たくさん出た意見の中から、どの意見を深く掘り下げていくか多数決で決めました。

その結果、「誰もが来たくなるような街」をつくるために必要なことを考えました。

あわせて、そのために自分自身（高校生）ができることについても考えました。

必要なこと（具体的施策）	そのために自分自身ができること
テーマパークみたいな遊ぶ場	実態を調べる

所をつくる	
ショッピングモールやテーマパークをつくる	今ある建物や出来ていく過程を調べる
フェスを開く	費用がどのくらいかかるか調べる
市外からきた人に何か特典をつける	—
医療費を安くしたり、企業を誘致する	—
飲食店をつくる	江津市で作った野菜を使う
ショッピングモールやイベントなどを増やす	有名人を呼ぶ／江津のよいところを理解する
有名になるようなものをつくり、宣伝する	みんなが求めているものや何がしたいのかを調べる
楽しいイベントを企画する	いろんなイベントに参加してみる
地域の物を使った食べ物や出し物をするイベントや行事を増やす	江津の良いところ・良い物を理解する
江津のいいところで遊べる場	海や川などのいいところをアピールする Youtube にビデオをアップす

	所をつくる	る
	自分たちが周りの人に紹介する	進学先で出会った県外の人に島根の良いところを教える
	遊べる場所や食べる場所を増やす（喫茶店など）	市内の空き家などを使って店を開きたいと思っている人に提供する
	<p>多数決で決まったテーマ「誰もがきたくなるような街」に対して、懐疑的な考えを持っている高校生もいましたが、議会ではたくさんの市民の皆さんの意見や要望に対して、議論してまちづくりの方向性や具体的施策を決めていることを説明し、みんなで決めてテーマに対して自分なりの意見を出してもらいました。</p>	
その他特記事項	アンケート結果別紙	

平成 29 年 12 月 13 日

江津市議会議長 田中 直文 様

地区報告会責任者 森 脇 悦 朗 ㊟

江津市議会報告会実施報告書

開催日時	平成29年11月25日（土）16時～17時45分	
開催場所	嘉久志地域コミュニティ交流センター	
出席議員	責任者 田中直文 報告者 石橋孝義 島田修二 鍛冶恵巳子 記録者 田中利徳	
参加市民数	40人	
実施内容報告	議会報告	(1) 総務文教委員会・・・鍛冶恵巳子 (2) 建設厚生委員会・・・石橋孝義 (3) 決算特別委員会・・・島田修二 (4) 予算委員会・・・鍛冶恵巳子
	パネルディスカッション	進行・・・田中直文 パネラー・・・石橋孝義 島田修二 鍛冶恵巳子 テーマ・・・「地域コミュニティの活動について」 質問1 江津市では、全市において地域コミュニティを立ち上げ活動しているが、各地域の活動はどのようになっているのでしょうか。 ・石橋議員 都治地域の「梅の里づくり」について紹介 ・島田議員 黒松地域の海産物を用いた活動と波積地域の現時点での課題解決活動について紹介 ・鍛冶議員 今年度立ち上がった渡津地域の8部会による活動について紹介 質問2 各地域コミュニティそれぞれの特色ある活動を紹介していただきました。活動の中で、課題も見えてきていますが解決法等について伺います。 ・石橋議員 「梅の里づくり」を一家に一花で進め、昨年から結実するようになってきたが、6次産業化等のハードルの高さを実感している。10年経過後の財政支援が必要と考えている。 ・島田議員 「住んで良かった」と思える20年後のまちづくりを考えるのは、現在の40代の方々です。どのように若者を参画させるか。そのためには、若者の意見を受け入れ、若者が将来を思い浮かべることが大切だ。 ・鍛冶議員 渡津は立ち上げたばかりで、もともと4地域の集合体であり、力が分散する傾向が強い。より多くの人をどのように巻き込んでいくかが鍵となる。

	意見交換	<p>(1) 嘉久志地域での「蛭子北土地区画整理事業」の支援について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・回答 (田中直文) 要望書も出ており、中心市街地活性化のためにも重要と考えている。 <p>(2) 人口減少に歯止めをかけるためにも、地元出身者の地元企業へ就業が大切であるが、積極的に斡旋をしていただきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・回答 (田中直文) 江津工業団地の誘致企業や日本製紙へ就職する地元出身者が増加している。今後もキャリア教育やU I ターンの推進に努めていく。 <p>(3) 勤労者青少年ホームの解体はいつになるのか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・回答 (島田修二) 今、工事に取り掛かるところです。 <p>(4) 「パレットごうつ」周辺の工事はいつ完成するのか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・回答 (田中直文) 本年度完成を目指している。早期完成を今後も県に強く要望していく。
	要望・意見等	<p>(1) 嘉久志地域では、「蛭子北土地区画整理事業」に組合方式で取り組んでいる。現在は準備委員会で組合設立を進めている。事業を成功させるには、幹線道路等に対する江津市の支援が必要なので、議会の方でも支援をお願いしたい。</p>
	その他特記事項	<p>この度は、案内状を嘉久志連合自治会に依頼し、全戸配布とした。パネルディスカッションは、嘉久志町民の関心の高い地域コミュニティをテーマに行ったが、パネラーの地元の地域コミュニティの活動紹介があり、満足度の高い内容となった。</p>

平成 29 年 12 月 1 日

江津市議会議長 田中 直文 様

地区報告会責任者 田中 直文 ㊞